

玉垂

たまだれ
No.22



陽春の御社頭（平成20年2月28日）

<http://www.okuninjinja.jp/>

御挨拶

小國神社 宮司 打田文博

年明け以後厳しい寒さが続きましたが、ここ数日寒さも緩み境内の梅も花盛りとなりました。氏子崇敬者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

本年は年号が示す通り、天皇陛下におかせられましては御即位二十年の佳節をお迎えあそばされ誠に慶賀にたえない次第であります。また干支は子年、ねずみは当社の御祭神大己貴命の危難を救ったという古事記の伝承に因み、ことのほか子年は大切にされてきました。したがって本年は、例年に増して大神様の廣大無辺のご神徳を戴ける「御縁年」と申し上げております。皆様のご参拝をお待ち致しております。

さて、継続中の「御鎮座一四五〇年記念事業」であります。昨年十月にお陰様で第二期事業が完成致しました。いよいよ本年は最終事業であります。「斎館及び参拝者休憩所」の建設に取り掛かるべく準備を進めており、現段階では来年末の竣工を考えております。

今日までお寄せ下さいました氏子崇敬者各位のご芳志に対し厚く御礼申し上げますとともに、継続中の募財活動に対しご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、年の始めに一年の平安無事を祈る気持ちは万人等しく同じであると思います。しかしながら世情に目を転じますと、多事多難を通り越し多事混乱とでも申すべき憂慮に堪えない状況があります。特に衆参ねじれの国会は、国民中心と言いつながらその実は大衆を巻き込んだ権力闘争に明け暮れ、政治の低次元化に歯止めが掛かりません。場当たり的な人気取りは止めて、国難脱出と国の将来を見据えた内政、外交を展開していただきたいものです。そのためには政界の再編が急務です。昨今そんな動きもあるようですが、やはり健全な保守勢力を軸に再編されたいと願っております。

一方、まったく明るい話題がないわけではありません。先日内閣に設置されていた「教育再生会議」が最終報告をまとめ終了となりました。同会議からは教育再生に向け、様々な提言がなされておりますが、中でも「徳育」の充実が強く打ち出された点は同慶に堪えません。やはり教育は、個人作りではなく日本人作りでなければ意味がありません。今後は提言の実効性が重要です。絵に描いた餅にならぬよう関係機関の実行に期待すると同時に、小國神社の杜からも感動を与える多様な内容を発信したいと考えております。

何方様も、山笑う季節をお楽しみ下さい。

（二月二十三日記）



御弓始祭（平成20年1月17日）



平成20年正月の参道の賑わい



正月の拝殿前



正月だるま授与奉仕

氏子青年会の活動



手新始祭の神事（1月11日）

手新始祭の齋行



田遊び神事 一苗草踏み（1月3日）

正月三日午後一時より「田遊び神事」が行われました。小國神社の田遊びの歴史は古く鎌倉中期頃より伝えられています。年の始めにその年の豊作を祈願して田作りから刈り入れまでの稲作過程を模範的に演じてみせる神事芸能で、田の神を活気付けるところに原義があつたともいわれています。

神事は、旧社家の皆様により一番の素鍛から十二番の歌おろしまでの十二段の演目によって奉仕され、参拝者はその神事芸能に感心を寄せます。神事後には、神札の授与・投げ餅が行われます。

田遊祭・田遊び神事（一月三日）

平成二十年 節分祭

暦の上で立春を翌日に控えた二月三日、例年通り節分祭を斎行いたしました。当日は曇天で冷え込みましたが、日曜日また厄除大祭期間最終日でもありましたので、終日絶えず参拝者が訪れました。

午後二時、拝殿内での追儺や福笑いなどの災いを払い福をよぶ神事では、今年の年役奉仕者一四名とアテネオリンピック女子レスリング金メダリスト吉田沙保理選手、並びに浜松出身で俳優の笈利夫さんたちによりまして、寒さを忘れさせるほどの活気でご奉仕いただきました。

神事後の舞殿及び特設舞台での豆撒きでは小雨となりましたが、福を求め



俳優 笈利夫氏(左)・打田文博宮司(中)
アテネオリンピック金メダリスト 吉田沙保理選手(右)

る多くの参拝者で賑わいました。特別にご参加いただきましたお二人の更なる各界での活躍に期待いたします。



節分祭「福笑い神事」

師走の大祓式

十二月三十一日の大晦日に師走の大祓式を斎行いたしました。

大祓式は年二回行われ、知らず知らずのうちには心や体についた罪やけがれを、身代わりとなる人形に託し、川に流して祓い清める日本古来の伝統神事です。当日は多くのご参列者また人形が祓い清められ、清く正しい身に立ち返りました。

来る六月三十日には境内に設けられる「茅の輪」をくぐる、夏越の大祓式が斎行されます。

当日ご参拝いただければ、お祓いをご一緒にお受けいただけますので、是非ともご参列くださいますようお願い申し上げます。



師走の大祓式 (12月31日)

祈年祭の斎行

二月十八日午前十時より祈年祭が斎行されました。祈年祭は、トシゴイノマツリとも訓み、「トシ」は稲の稔りを意味します。

神様に新しい年の平安や五穀豊穣、また国家の弥栄を祈願するお祭りです。十一月の新嘗祭とともに重んじられています。当日は、真冬なみの厳しい寒さの中ではありませんでしたが、境内の梅花がほのかに香る日本晴れの良い日に恵まれました。静岡県議会議員岩瀬護様・崇敬奉賛会理事の小栗啓様を始め約八十名のご参列を賜り斎行いたしました。



祈年祭 (2月18日)

紀元祭の斎行

二月十一日は神武天皇が御即位され、日本を治められた「建国記念の日」にあたります。

この日は、毎年全国の神社を始め各地で建国を記念する行事や奉祝式典などが行われております。当社でも奉祝パレードが実施され、午前八時三十分より氏子内の三地区より出発し、子供会を中心に総勢三五〇名程が参加いたしました。当日は天候にも恵まれ、国旗や手旗を振りながら神社に向かって元氣よく行進いたしました。

拜殿にての紀元祭では、森町長村松藤雄様を始め、森町議会議長長渡邊輝良様・静岡県議會議員岩瀬護様・奥之山隆様・当社崇敬奉賛会副会長長安間百合子様・理事小栗啓様のご参列を賜り、無事滞りなく斎行いたしました。祭典後には拜殿前にて奉祝式典が行われ、



奉祝式典



奉祝の餅つき



奉祝パレード

ご来賓の皆様よりご祝辞を賜りました。また境内では、氏子青年会の奉仕による毎年恒例の餅つきやビンゴゲームが催され、参加者やご参拝の皆様にも黄粉餅や甘酒が振る舞われるなど、境内は大変賑わい楽しいひとときを過ごして建国の日をお祝いいたしました。



御鎮座千四百五拾年記念事業

御奉賛者御芳名(七)

(順不同・敬称略・平成十七年一月一日〜平成二十年二月二十日迄)

※記載額は奉賛金の総額となります

一宮・橘地区

参 萬 圓以上

土屋 勝義
御厨 久一

参 萬 圓以上

内山 幸良
村松 年
祝 良一郎
本田 昇
村松 徳治
山下 三男
田中 鋭志
村松 康夫

参 萬 圓以上

袴田 幸生
野口 禮三
大石 昭夫
鈴木 成治

参 拾 萬 圓以上

山本 啓仁

参 萬 圓以上

乾 浩
天野 康
船田 堅司
松田 弘之
古牧 十策
藤野 義夫
新井智恵子
中島 正一
大塚 恒二
張 自平
島田 明
降旗 芳利
武田 研二
久保田明人

参 萬 圓以上

柴本 毅

諸団体及び崇敬者

参 百 萬 圓以上

参 拾 萬 圓以上

参 拾 萬 圓以上

参 拾 萬 圓以上

大場 重人
野中 功
野末 芳明
山本 太一
金原 均
山本 泰幸
村松 学
山本 喜重
鈴木 勝之
田中 正善
赤堀 孝弘

朝日電装株式会社
手嶋 寛征
セルコ株式会社
西川 昌宏
(有)トーハタ写真館

静岡県西部街商協同組合

平成二十年 例祭

来る四月十八日は当社の縁日にあたり、例祭が斎行されます。古来より連綿と受け継がれている数ある祭典の中で、当社にとつて最も重要な祭典です。関係者ご参列のもと、厳粛に斎行されます。

さらに、十七日に前日祭、二十日に神幸祭を斎行いたします。神幸祭では御輿の渡御や勅使行列・稚児行列など広く皆様にご神徳をお分かちする神賑わい行事も行われます。また、十九日・二十日には国指定重要無形民俗文化財「古式十二段舞楽」が奉奏されます。二十日の終演（午後八時三十分頃）にあたり、平安を祈念した投げ餅をいたします。

殊に本年は子年ではありますが、御祭神におかれましてもより神威を発せられる縁年となります。一連の祭事・行事を通して、一層のご加護・ご利益がいただけますよう皆様のご参拝をお待ちいたします。



神幸祭のみこし渡御



春の深山つつじ



初甲子祭の特別神事（平成19年）

天津、能生白山、小國 それぞれの舞楽空間

昨年師走八日、冬の日本海を臨む能生白山神社舞楽稽古場、私たち古式舞楽保存会師匠九人は、地元の玄魚干物と銘酒を味わいつつ能生の舞楽を支える人たちと語り合いました。

隔年で行っている師匠有志の舞楽研修旅行、今回は新潟大学教授の伊野義博先生の御紹介で、新潟県糸魚川市の天津神社と能生白山神社を訪ね、共に国指定重要無形民俗文化財の舞楽の保存伝承活動について研修を行いました。

天津神社では、茅葺きの拜殿で舞楽奉納伝承の状況などをお聞きし、舞楽関係建物等の現地説明を受け、御神酒御神饌まで賜りました。

能生白山神社では、大勢の保存会員にお出迎えいただき、重要文化財の本殿前で記念写真を撮った後、パソコン映像で丁寧な説明を受け、銘酒と玄魚で歓待いただきました。総代の室川様・保存会長長中島様はじめ保存会員の皆さまとお互いに舞楽を伝える情熱を語り合い、予定時間を越えて夕暮れ時まで和やかな歓談が続きました。私たちは重要文化財の本殿・仏像、重要有形民俗文化財の海上信仰資料、天然記念物の神社社叢等、そして重要無形民俗文化財の能生の舞楽、茅葺きの拝殿など素晴らしい文化財の数々に驚嘆いたしました。一同充実した研修に満足し能生白山の方たちに見送られ、宿

小國神社古式舞楽保存会

天野 智加志

泊先の柵口温泉権現荘に向かいました。日本海を臨む糸魚川の地、地方舞楽を伝える人々、それぞれに歴史を重ねた景観の中で催される祭礼と舞楽の空間に思いを馳せました。本年も四月六日天宮神社、十日天津神社、二十日小國神社、二十四日能生白山神社と伝統の舞楽が行われます。私たち小國神社の舞楽も、老杉木立や檜皮葺の社殿等、ここが舞楽に最も相応しい場所、ここにしかない舞楽空間、これ以上の舞楽の舞台はありません。数百年前この地に生きた人々と同じように、舞楽とともに今を生きている幸せに感謝しつつ、今年もまた古式十二段舞楽を奉納させていただきます。



能生白山神社の舞楽保存会の皆様との懇談

一宮さくら祭の開催

四月六日(日) 午前十時より恒例の「一宮さくら祭」を開催します。拝殿前の舞殿にて琴・尺八の奉納演奏、境内では野点や甘酒がふるまわれます。メイン会場となる門前の特設ステージではバンド演奏や詩吟などの公演が楽しめます。午後三時二十分頃には投げ餅を実施、また夜間は夜九時まで門前周辺をライトアップしますので皆様お誘い合わせの上お出かけ下さい。



祓橋付近のソメイヨシノの開花

勸学祭のご案内

当社では毎年、新学期に合わせて勸学祭を斎行いたします。このお祭りは、氏子地区内で小学校・中学校に入学されるお子様にご参列いただき、大前に学業成就また身体健全をご祈願申し上げます。

緊張した面持ちで拝殿に正坐した新一年生の姿は、期待に満ち溢れており、大変初々しいものです。

本年は四月五日(土)の午前十一時三十分より斎行いたしますので、ご家族の皆様お揃いでご参列いただきますようご案内申し上げます。



勸学祭

氏子入り奉告祭のご案内

四月十九日(土) 午後二時より氏子入り奉告祭を斎行いたします。

氏子入り奉告祭は、氏子内地域(森町一宮地区・園田地区・橘地区)にてお生まれになったお子様及び嫁入り・婿入り・転入居住された方をご案内し、当社の氏子に加わったことをご神前にてご奉告申し上げますと共に、人生の平安・子孫長久・家内安全・無病息災をご祈願申し上げます。

この祭典は、毎年大祭(神幸祭)の前日に併せて斎行されており、祭典終了後にはお守りと御供物が授与されます。

本年は、平成十九年四月一日より平成二十年三月三十一日までの間に氏子入りされた方をご案内いたしますので、是非ともご家族お揃いでご参列いただきますようご案内申し上げます。



例祭の拝殿前

古代の森シリーズ 22

大宝殿

大宝殿は境内を流れる宮川にかかる赤橋を渡り、山間の階段を上った高台にあります。昭和四十四年の新築で、神社の諸会合や崇敬者のおこもり(参籠)・各種研修会また結婚式の披露宴会場など多目的に利用出来ます。風格のある佇まいの建物ですが、老朽化に伴い、屋根替え、風呂・トイレなどの改修工事をおこない、リニューアルを図っております。

昔ながらの木造建築のぬくもりは利用者好評です。ご利用ご希望の際は社務所までお問い合わせ下さい。



大宝殿

まつり歳時記

三月〜六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十七日 鉦執社例祭 (午後一時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 二十五日 初甲子祭 (午前九時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 五日 勸学祭 (午前十一時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 一宮さくら祭 (午前十時)
- 八日 杉祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十六日 垢離祭 (午前十一時)
- 十七日 献詠祭 (午前九時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十七日 舞揃 (午後二時)
- 十八日 例祭 (午前十時)
- 十九日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 十九日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 二十日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 二十日 神幸祭 (午後二時)
- 二十三日 献茶祭 (午前十時)
- 二十九日 昭和祭 (午前九時)

五月

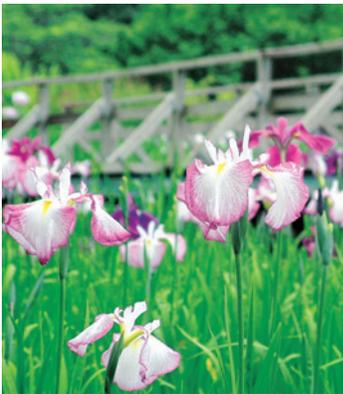
皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十四日 甲子祭 (午前九時)

六月

水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 七日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 八日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十二日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



花菖蒲

稚児行列奉仕者の募集

四月二十日(日) 午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 〇五三八一八九一七三〇二
振興会 稚児行列係

募集要項

- 一、対象者 小学校三年生
- 一、参加費 位までの男女 五、〇〇〇円
- 一、募集人員 先着二十名
- 一、申込締切 四月三日(木)



稚児行列

献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◇兼題 「里」・「茶」
- ◇用紙 短冊

(歌は楷書にてお書き下さい。裏面に住所・氏名を明記下さい。)

- ◇献詠費 無料
- ◇締切 四月十二日(土)
- ◇宛先 〒四三七〇二二六 静岡県周智郡森町一宮 三九五六一 小國神社社務所 祭儀課献詠係



舞楽行列

命名

平成十九年十二月一日

〜平成二十年一月三十一日

- | | | | | | |
|----|----|-----|-------|----|-----|
| 松下 | 燿大 | 磐田市 | 鈴木 | 温介 | 浜松市 |
| 戸塚 | 柚希 | 袋井市 | 渥美虎之助 | | 浜松市 |
| 村上 | 陽菜 | 袋井市 | 熊谷一之伸 | | 浜松市 |
| 亀山 | 育恵 | 静岡市 | 鈴木 優吾 | | 磐田市 |
| 大波 | 紗季 | 掛川市 | 永井 優羽 | | 袋井市 |

- | | | |
|----|----|-----|
| 柳生 | 晃希 | 浜松市 |
| 稲穂 | 佑香 | 浜松市 |
| 植田 | 蒼士 | 菊川市 |
| 梅原 | 梨緒 | 浜松市 |
| 杉本 | 響也 | 菊川市 |
| 森本 | 恵伍 | 東京都 |

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

「小國の杜・点描」



宮ノ谷の梅園（平成20年3月1日）



初夏のセッコク（平成19年）



百日紅（さるすべり）（平成19年）



塩井神社 鳥居の奉納（平成19年2月15日）



節分祭用 福豆袋入れ作業の奉仕

敬神婦人会の活動



河津桜（3月8日）

編集後記

○『玉垂』二十二号をお届けいたします。主に正月状況のご報告をさせて頂きました。天候も順調でありましたので、とても良い初詣でした。関係各位のご理解・ご協力に改めて申し上げます。

○節分祭には寛利夫さんと吉田沙保里選手にご奉仕戴きました。寛さんはよく各地の神社参拝をされるそうです。また、吉田選手は気分一新して北京オリンピックに向かってがんばりますと抱負を語っておられました。

表紙写真について

平成二十年二月二十八日（木）正午に拝殿から御本殿にかけての御社殿を撮影いたしました。二月は低温の気候でしたが、やっと多少春らしい陽気となりました。本格的な春となり、次々と境内にある花が咲くころがとても楽しみです。

平成二十年三月七日
「玉垂」（たまだれ）第二十二号
題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三七一〇二二六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八（八九）七三〇二
FAX 〇五三八（八九）七三六七
印刷 柳サイオオフィス エム・エス・シー